



医療経営士ニュース | これからの医療現場を担う経営人材のための機関紙

MMS NEWS

2021 3 月号
Vol.121
毎月1回発行(通巻121号)
編集:日本医療企画

一般社団法人日本医療経営実践協会 〒104-0032 東京都中央区八丁堀三丁目20番5号 S-GATE八丁堀9F TEL.03-3553-2906 <http://www.jmmpa.jp/>

令和3年新春特別対談をWEBライブ配信

渋澤健氏と守屋淳氏の議論を通して 渋沢栄一の生き方・考え方を学ぶ



対談した渋澤健氏(左)と守屋淳氏

一般社団法人日本医療経営実践協会は1月14日(木)、令和3年新春特別対談をWEBによるライブ配信で開催した。テーマは「渋沢栄一に学ぶポストコロナ時代の生き方、考え方」。渋沢栄一の5代目子孫でコモンズ投信株式会社社長の渋澤健氏と、作家・中国古典研究家で『現代語訳 論語と算盤』(筑摩書房)などのベストセラーを持つ守屋淳氏が議論を交わした。同対談はライブ配信後、2月28日(日)までオンデマンド配信された。

渋沢栄一の経営力の根幹には「信」があった

対談のテーマとなった渋沢栄一は、近代日本の礎を築いた人物として知られる。今年のNHK大河ドラマ『青天に衝け』ではその生涯が描かれ、2024年からは1万円札の顔となる、今最も注目を集める偉人だ。

対談ではまず、守屋氏が「なぜ渋沢栄一は、たった一

人で500もの会社、600もの社会事業にかかわることができたのか」と疑問を投げかけた。これに対し渋澤氏は、渋沢栄一の経営力に着目し、「論語」では仁・義・礼・智・信の五徳の重要性が説かれていますが、渋沢栄一の根幹には特に「信(信用、信頼)」がありました。相手に信頼されていたからこそ、周囲を巻き込みながら多くのことを成し遂げることができたのでしょ」と指摘した。

最後に、医療関係者のこれからの活躍のヒントとなる渋沢栄一の教えや知恵について触れた。二人は「皆の責任感によってより良い社会を創ることができるといのが、渋沢栄一の考え方です。次の世代により良い形でバトンをパスすることをイメージしながら、日々それぞれの役割を果たすことが大切(渋澤氏)」、「時代が変われば逆境に陥る人もいますし、その反対の順境に陥る人もいます。それを天から与えられた社会的役割だと捉え、その役割を果たすために努力することが重要です。ぜひ、渋沢栄一の言葉を参考にしてください(守屋氏)」と訴え、対談を締め括った。

第4回(2021年度)「医療経営に関する研究助成」案件募集

助成総額
1000万円
医療経営士の
挑戦を求む!

1 懸賞論文「日本医療経営実践賞」

【公募締切】5月11日(当日消印有効)

- 募集内容: 医療経営に関する論文等でテーマは自由とする
※懸賞論文と指定課題研究の両方に応募することは可能だが、指定課題研究と同一テーマで応募することは不可
※研究成果については、論文のほか、事例研究レポート等を含め、形式を問わず内容の優れたものを選考する
- 対象者: 医療経営士および医療経営に携わる個人・グループ
- 賞金金額: 優秀な論文を表彰し、併せて賞金100万円を授与する
- 原稿字数: 12,000字以上20,000字以内
※未発表論文に限る

2 指定課題研究

【公募締切】3月31日

- 募集内容: ①ポストコロナ時代の医療経営
②医療経営におけるDX(デジタルトランスフォーメーション)
③医師・看護師等の働き方改革
※①~③いずれか1つの課題を選択。同時応募は不可
※医療機関以外からの応募も可
- 対象者: 医療経営士および医療経営に携わる個人・グループ
- 助成金額: 1件当たり50万円~250万円を予定(件数未定)
※指定課題研究助成と懸賞論文とを併せて総額1,000万円を上限とする
- 助成研究期間: 原則1年間(2021年6月1日~2022年5月31日)

「医療経営指導士」新たに2人が誕生！ 多彩な活動を通して、資格の価値を高めよう

「医療経営士1級」資格認定者からの登録申請により、当協会が資格を付与する「医療経営指導士」制度。
登録会員には、「医療経営士」「医療経営指導士」の名称を使用して、当協会公認による試験対策講座や研究会、
講演活動などを主催できるというメリットがある(詳細は当協会ホームページ参照)。
新たに登録会員となった2人に、「医療経営指導士」としての今後の活動や目標について、コメントをお寄せいただいた。



時間帯ごとの救急患者を 予測できるシステムを構築したい

熊谷有祐氏

社会福祉法人恩賜財団 済生会熊本病院 医療支援部救命救急支援室

ア ウトプットの活動を増やして、医療経営に関する実力をつけたいと思い、「医療経営指導士」へ登録を行いました。いわゆる一般的な病院事務職員の視点で、地方から有効な情報をアウトプットできればと思います。

「医療経営指導士」認定後は、多くの勉強会に参加させていただくことが増えました。そのなかで、熊本県内の医療関係者と顔の見える関係を醸成できたことは大きなメリットとなっています。特に新型コロナ関連の業務は短い期間で

不確実な判断を迫られることが多いため、他院の方との情報交換は重要な要素となっています。

直近の目標は、「救急患者推計」に関する調査です。日々の救急患者数は、曜日・時間・気温・人口動態等の要素と相関があることは、救急現場において認識されていますが、それらを係数化することで、救急患者数の予測にアプローチし、効果的な供給に貢献したいと考えています。また、論文発表等も積極的に行いたいと思います。



医療機関のベストパートナー となれるMRの道標となる

山見大史氏

株式会社大塚製薬工場 営業部 係長

今 日、MR不要論を耳にすることが多くなっていますが、医薬品の情報提供や病院経営等において真のニーズに沿った提案ができる、ベストパートナーになれるMRが必要だと感じています。そのようなMRの道標になりたいと考え、「医療経営指導士」に登録申請をしました。

「医療経営指導士」は、その名称を使用して、医療業界にとって有益と考えられる活動を、自らの責任で企画・実施できることが魅力的だと感じました。実施した活動が、今後の

医療業界にプラスに働けば、大変やりがいを感じます。

今後は、「医療経営指導士」の資格を持つMRとして、医療業界全体にメリットがある情報提供を目指します。たとえば、在院日数短縮・患者さんの早期在宅復帰につながる栄養介入の事例等を普及したいと考えています。また、それができるMRの仲間を増やしていくことにも注力します。

そうした活動の結果として、MRが医療提供体制に不可欠な存在だと広く認知してもらえれば嬉しく思います。

医療経営士におすすめの書籍

『「建築家と共創する病院づくり」 地域住民に愛される病院は どのようなにして生まれたのか』

日建設計の建築家2人が語る
病院建築の要諦

1900年創業の日建設計は、日本の近代化の歴史と歩調を合わせ、建築技術の進化を支えてきた。医療施設の設計は1950年代に始まり、これまでに手がけた数は400を超えている。そのなかには、足利赤十字病院、佐久総合病院佐久医療センター、東京都立多摩総合医療センター・小児総合医療センターなど、その先進性が話題となった病院も多い。日建設計の飽くなき挑戦が日本の病院建築の歴史を大きく変えてきたと言っても過言ではないだろう。

本書は、数々の病院建築プロジェクトを成功に導いてきた日建設計の気鋭アーキテクト2

人による共著書である。新病院の計画段階から完成までの紆余曲折を豊富な写真や設計図を用いて振り返り、建築家の役割とは何か、地域住民に愛される病院はどのようにして生まれたのかを紐解いていく。

プロジェクト成功のカギは
建築主との対話にある

著者2人は、建築主である病院経営者との対話こそが病院建築成功のカギであると指摘する。繰り返される対話を通して、病院のコンセプトを具体化し、医療者が抱える潜在ニーズまですくい上げること、完成後も時代の変化や医療技術の進化に対応できる病院が生まれる。移転新築、建替え等を予定している病院の経営者だけでなく、多くの医療関係者にお読みいただきたい一冊である。

4月上旬
発売!



- 書名
建築家と共創する病院づくり
— 対話が生む成長と変化に対応できる医療施設
- 著者
近藤彰宏 / 大守昌利
(株式会社日建設計
ゼネラルマネージャー)
- 定価
本体2,600円+税
- 体裁・仕様
A5判・並製 / 292ページ
- 発行
株式会社日本医療企画

『医療経営士中級テキスト』シリーズが大幅リニューアル!

執筆者に聞く、テキスト学習のポイント

第6弾

『医療経営士中級テキスト』シリーズ(日本医療企画刊)改訂版および新版の発刊が2020年7月より順次進められている。同シリーズは2010年6月に全19巻で創刊。今回のリニューアルでは多くの巻が10年振りに内容を一新した。今号は、一般講座3巻の真野俊樹氏と、一般講座9巻の福永肇氏に、医療経営士に向けたメッセージなどをうかがった。

※テキストの詳細は専用サイト
http://www.jmp.co.jp/mm/
をご確認ください。

中級【一般講座】3『医療マーケティングと地域医療』

真野俊樹 まの・としき

●中央大学大学院戦略経営研究所教授



1987年名古屋大学医学部卒業。臨床医、製薬企業のマネジメントを経て現職。医学博士、経済学博士、MBA。多摩大学大学院特任教授、厚生労働省独立行政法人評価に関する有識者会議医療・福祉WG構成員(座長)、日本医療経営実践協会参与などを兼務。出版・講演も多く、マネジメントやインペーションの視点で医療・介護業界の改革を考えている。

マーケティングは、経営学のなかでは比較的新しい学問です。近年、さまざまな分野で顧客(患者)志向の重要性が指摘されており、マーケティングの考え方を適用できる領域が広がってきました。

ここでいう領域には、医療や介護、あるいは教育といった個別分野のみならず、たとえば、組織をつくる時、会社(医療機関)の経営戦略を考えるときなども含まれます。繰り返すになりますが、経営学のなかで幅広くマーケティングの考え方が必要になったことで、顧客志向

が強まっているからです。今回の改訂で気をつけた点として、世の中のデジタル化が挙げられます。デジタル化はコロナ禍にも後押しされ、急速に進んでいます。デジタルの特徴は個人々が情報収集し、意思決定するようになるということです。当然、マーケティングの考え方も変化を及ぼし、今後は個別の考え方というより社会の仕組み自体が顧客中心にならざるを得ないでしょう。

本書では、マーケティングの視点から見た地域医療連携について触れています。当初は前方

連携、後方連携と親和性が高かったマーケティングの考え方が以前にも増してさらに拡張していることは強調しておきたい部分です。

本書との関連で医療経営士の皆様へお伝えしたいのは、顧客(患者)中心の世界では、客観性だけでなく主観性も重視されるという点です。近年、エビデンスという言葉があちこちで言われますが、世の中のすべてがエビデンスで回っているわけはありません。このことを胆に銘じ、医療機関や地域に貢献していただきたいと思えます。

顧客(患者)志向のマーケティングを学び、医療機関や地域に貢献を!

中級【一般講座】9『病院ファイナンス』

福永肇 ふくなが・はじめ

●金城大学社会福祉学部教授



1979年神戸大学経済学部卒業後、住友銀行入行。同行(および三井住友銀行)法人業務部にて病院取引推進を担当。2002~07年まで国際医療福祉大学へ出向(企画部、医療経営管理学科助教授等)。09年銀行退職後、藤田保健衛生大学医療経営情報学科教授に就任。18年より現職。21年4月より埼玉学園大学経済経営学部特任教授就任予定。

本テキストでは、病院の資金調達における基礎から応用に至るまでをわかりやすく解説しました。資金調達の手法や実務だけでなく、「考え方」に重点を置いています。

大学には経済学部「金融論」、工学部に「金融工学」、経営学大学院(MBAコース)に「ファイナンス論」の講座がありますが、資金調達の実務は教えます。銀行員は必要以上の話はしないという教育を受け、仕事での信条にしています。そのため、銀行の財産である「行内限り」の金融技術やノウハウ

の公開は期待できません。これらのことから資金調達は一般人には知りようのない分野になっています。

病院の資金調達で重要なものは「設備投資資金の銀行借入」です。しかし、銀行借入に詳しい人は病院だけでなく社会にもほとんどいません。これでは病院が希望する資金調達の実現はおぼつかないでしょう。そこで病院経営の中核を担う医療経営士の皆さんには、本テキストの学習を通して銀行借入の知識を身につけていただきたいと思います。

主たる読者層としては民間病院の理事長、病院長、事務部長、経営管理スタッフを想定しました。さらに、医療経営士を目指している銀行員の方々にも役立つことを強く意識し、病院融資における考え方の説明に注力しました。医療コンサルタント、公認会計士、税理士の方々も病院の資金調達を学ぶときの教科書として活用していただければ嬉しく思います。

資金調達に関する知識と自信を持った医療経営士として活躍していただくことを期待しています。

資金調達の実務を理解して、病院経営の中核を担う人材になろう

第21回「医療経営士2級」資格認定試験

好評
配信中!

直前ポイント整理WEB講座

★ 出題範囲の“重要ポイント”を効率的に学習!

★ オンデマンドだから繰り返し勉強できる!

★ 受講者限定「特別予想問題(100問)」をプレゼント!!

■ 配信期間(予定)
2月26日(金)~6月13日(日)まで
(期間中なら何度でも視聴可)

■ 講師
網代祐介(社会医療法人社団光仁会第一病院医療福祉
連携室室長、医療経営士1級、医療経営指導士)

■ 主催
株式会社日本医療企画

■ 受講料(税込)
15,000円(講座視聴のみ) 17,000円(書籍付き*)
*書籍『なるほど、なっとく医療経営Q&A60 中級』
(税込定価4,180円)

※本講座は、2020年10月18日(日)実施の第20回試験向けに行われたWEB講座と同様の内容になります。問題集は順次郵送にて発送いたします。講座では、日本医療企画発行『医療経営士中級テキストシリーズ』および『なるほど、なっとく医療経営Q&A60 中級』を基に構成しております。事前にお読みになりご参加ください。

事務局掲示板

『月刊医療経営士』読書会を開催中
医療制度や病院の経営戦略を楽しく学ぶ！

医療経営士応援マガジン『月刊医療経営士』（日本医療企画）では、2021年1月よりオンライン読書会を開催しています。読書会では、同誌の掲載記事をテキストに、編集長が特集や最新の医療ニュースを解説。貴重な取材ごぼれ話なども交えながら、医療制度やこれからの病院の経営戦略について、気軽に楽しく学びます。定期購読者は参加費1,000円が無料となります。

今回は3月16日（火）17時30分からスタート。詳細は決定次第、協会ホームページでご案内します。たくさんの医療経営士のご参加をお待ちしています。

「第7次医療計画を踏まえた医療機関経営」
「医療の国際化」に関する調査研究報告が
完成しました！

第2回（2019年度）「医療経営に関する研究助成」事業（指定課題研究部門）による最終研究報告書が、「第7次医療計画を踏まえた医療機関経営」「医療の国際化」に関する調査研究報告（A4判・並製・本文1色・76ページ）としてまとまりました。

なお、報告書の本文につきましては、協会ホームページ「研究助成最終報告書アーカイブ」に掲載しています。ぜひ、ご覧ください。



PICK UP 研究会

3/19 関東支部

第31回神奈川研究会
購買部門のミッションとは？
～調達により最大限の価値を生産せよ！～

関東支部神奈川研究会では、「購買部門のミッションとは？」をテーマにした第31回研究会を開催する。講師は済生会横浜市東部病院事務部副部長の内田力氏、川崎幸病院資材課課長の安齊克也氏、大船中央病院総務課兼経理部係長の青木大介氏。研究会では、講師3人が所属先購買部門における取り組みについて講演したあと、ディスカッションを行い、購買部門のリアルに迫る。

- 日時
3月19日（金）19:00～21:00
- 開催方式
オンライン（Zoomによるライブ配信）
- 参加費（税込）
会員：1,000円／非会員3,000円
- お問い合わせ先
神奈川研究会運営事務局
TEL:045-576-3000（内線：9707 / 担当：金城）

3/20 関西支部

医療・介護事業経営WEBセミナー2021
2021年度介護報酬改定 ポイント解説講座
～激変する介護保険制度の動向と生き残り戦略～

日本医療企画では、病院、診療所、介護事業所を対象とした「医療・介護事業経営WEBセミナー2021」を開催する（関西支部協力）。

セミナーでは、ウエルビー代表取締役の青木正人氏が、ウィズコロナ・ポストコロナの介護報酬改定と事業経営について解説。大和ハウス工業による医療・介護経営に役立つ商品・サービスの紹介も行われる。

- 日時
3月20日（土・祝）13:30～15:30
- 開催方式
オンライン（Zoomによるライブ配信）
- 参加費（税込）
無料
- お問い合わせ先
日本医療経営実践協会関西支部
TEL:06-7660-1761（担当：喜津木）

日本ヘルスケア経営学院【公開講座】

「ミドルマネジャー研修」をオンデマンド配信中
医療業界で活躍できる実践力を身につけよう！

講師を務める石井富美氏



日本ヘルスケア経営学院では、多摩大学医療・介護ソリューション研究所副所長の石井富美氏が講師を務めるオンデマンド職員研修講座シリーズ第2弾として、「医療業界で活躍できる実践力を学ぶ！ミドルマネジャー研修」を配信している。

講座は、「Ⅰ ロジカルシンキングとチームマネジメント」と「Ⅱ 事業計画の進め方」に分かれており、コンパクトでわかりやすくまとめられた講義を通して、現場で活躍できる人材になるために必要な実践力を学ぶ。各講座では、講義終了後の「確認テスト」で内容の理解度が測れる。

なお、シリーズ第1弾「医療業界で働くための基本を身につける！新入職員研修」も好評配信中。新年度からの職員研修の教材として、ぜひご活用いただきたい。

【講座概要】

- テーマ：
 - 講座Ⅰ ロジカルシンキングとチームマネジメント（約120分）
①課題の見える化 ②チームビルディングの基本
③チーム力の向上 ④チームを動かすマネジメント
 - 講座Ⅱ 事業計画の進め方（約90分）
①年度計画と予算管理の基本 ②BSCの手法による次年度計画の作成
③次年度計画のCSF、KPI設定
※各講座では、講義終了後に内容の理解度が測れる「確認テスト」付き
- 講師：石井富美氏（多摩大学医療・介護ソリューション研究所副所長）
- 受講料：[講座Ⅰ]6,500円+税 [講座Ⅱ]5,000円+税 [Ⅰ・Ⅱセット]10,000円+税
- お問い合わせ：日本ヘルスケア経営学院 事務局（日本医療企画内）
TEL:03-3553-2862 URL:https://hcmi-s.net/

2040年を見据えた“ポストコロナ”時代における経営戦略の羅針盤

日本ヘルスケア
経営学院
公開講座2021年度介護報酬改定
重要ポイント徹底解説好評
配信中！

講座概要



●講師
江澤和彦氏
（日本医師会常任理事、
社会保障審議会
介護給付費分科会委員）

●受講料：8,000円+税
●講義時間：140分
●配信期間：2021年6月30日まで

●講座のポイント
介護給付費分科会での議論の流れを当事者が徹底解説！
21年度改定の背景と厚生労働省が描く
シナリオのねらいがわかり、未来が読める！

【お問い合わせ先】日本ヘルスケア経営学院 事務局（日本医療企画内） ☎03-3553-2862 https://hcmi-s.net/